

第1回武蔵野市図書館運営委員会選書部会の記録

日 時 平成 16 年 7 月 26 日 午後 6 時 30 分
場 所 中央図書館 4 階会議室
出席委員 毛利和弘部会長 赤星昌子委員 石田和以委員
池田 泰委員 山本輝子委員 米山吉祥寺図書館長 丸本サービス担当係長
事務局出席職員 三木館長 小島課長補佐 柏倉図書担当係長 森川西部図書館長
並木主任 尾上主事 船崎専門委員

議題及び内容

○ 主な協議内容

(1)議題

- ① 部会長の互選（部会長 毛利和弘委員 職務代理 石田和以委員）
- ② 第1期選書部会報告書について
- ③ 選書部会の運営について

なお、主な意見等は以下のとおり。

- ・ 2ヶ月に1回程度の開催で行う。日程の調整をつけて必ず行う。
- ・ 第1期の残された課題としては特色ある蔵書構成・新聞雑誌・視聴覚資料の検討等があるが、横断的に討議を深めていく。
- ・ 第1期では選書システムの説明で1年かかってしまったという反省点があり、今期は第1期報告書を参考にしながら効率的に運営したい。
- ・ 第1期提言による改善点とは、選書に関わる職員が実態として少数であるための偏りを指摘されたので関わる人数を増やし合議制の運用を徹底したことである。
- ・ 選書部会の主旨・目的は蔵書構成や選書の方向性・方針を討議するという認識で進めたい。
- ・ 貸出とレファレンスが図書館の両輪。地域の情報をどれだけ集められるか、近年増加している電子ファイルやデータベース（DB）の収集・活用なども検討していきたい。
- ・ 蔵書構成を判断するのに必要な事項として資料が細かく分類されたものや、価格・発行年と貸出数のクロス集計、他市との蔵書構成を比較した資料などがあると議論しやすい。
- ・ 未利用データに全集がある。全集は全ての巻号が貸出されることは少ないが、基本的な図書を購入しないわけにはいかない。文化継承も公立図書館の役割。
- ・ レファレンスボックスや開架・閉架本のデータ、マイクロフィルム等資料の形態別の所蔵についての情報も欲しい。
- ・ 地図や資格試験の資料等更新すべき本が古い印象を受けるのはなぜか。
- ・ 市町村合併が多いので地図は毎年購入で。医学・栄養学等も早い買い替えを望む
→可能な限り早い買い替えを行う。
- ・ 人口1人当りの購入費1位・蔵書数16位とは武蔵野市は高い本が多いからか。
→武蔵野市の図書館の歴史は古いが施設規模や予算の関係で図書の蓄積の少ない時代があった。
- ・ 他市との蔵書構成を比較した資料があると良い